2023年度（令和5年度） 児童発達支援・放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日 2023年(令和5年)12月22日　　配布数：32　回収数：25　回収率：78.1%　　事業所名：しぇあきっず

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価(件数)						保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・できている ・空間は十分だが、備品設備が十分か不明だが、広い空間はある。 ・十分だと思う ・今の状況では広さは十分である。 ・利用者さんの利用スペースは十分だと思うが、倉庫やバギー置き場はもう少し広ければと思う。	23	0	0	2	0	・みることがないので ・建物の中に入ったことがないので…	・建物や設備を知らない方向けにHPに写真で公開してはどうか ・ルームツアーのような紹介動画を用意しても良いかも ・希望者にはお迎えの時に一緒にきてもらい、ご案内してもいいかも ・住宅紹介のような360度カメラ映像を作製するのは難しいか ・保護者会？参観日？のようなものを開催し、実際にみていただく機会を作れないか
	2	職員の適切な配置	・できている ・1対1以上で配置できている。 ・時間帯により体制が薄くなる時間がある。 ・入浴介助や送迎時はプラスαの人員が必要になる。 ・放課後の夕方からの時間は手薄になる。 ・2人で送迎が必要な利用者さんも多く、事務スタッフに運転手をお願いして対応することもある。	22	0	0	3	0	・みることがないので ・建物の中に入ったことがないので…	・日々の様子や1日の流れをHPなどに公開し、ご利用者様とスタッフの様子を発信するなど、知ってもらう機会を作っていく。 ・1対1の配置は曜日や時間帯によって難しいこともある。 ・入浴する利用者さんの人数によりフリーの人を配置する配慮が必要。 ・吸引が必要な方の送迎時は、必ず看護師と運転手の二人体制で行っている。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・できている ・バリアフリーになっている。 ・視覚優位な利用者さんにはわかりにくいかも（室内の壁には表示がないので）	21	0	0	4	0	・みることがないので ・建物の中に入ったことがないので…	・引き続き、ご利用様に配慮した環境づくりを行う。 ・いつでも見学可能であることを、もっと周知する。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・できている ・毎日営業終了後、清掃と消毒を行っている。 ・季節ごとの装飾がかわいい。 ・必要に応じ加湿器や空気清浄機、サーキュレーターなど使用している。	22	0	0	3	0	・みることがないので ・建物の中に入ったことがないので… ・写真などを見ると様子が分かる	・引き続き実施する ・清潔に保つことが徹底されている。 ・いつでも見学可能であることを、もっと周知する。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価(件数)						保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	・月1回の会議が設けられている。 ・気が付いた時にすぐ尋ねるようにしている。 ・中々関わるスタッフ全員が会議に出席することができていない。							・引き続き実施する ・定期的に会議の場を設け積極的に実施できている。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・導入できていない ・導入した方が良いと思う							・導入の必要性・可能性を検討する ・見学に来られた方に感想等のアンケートを取る ・必要であれば外部研修も検討する
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・法人内外での研修に参加している。 ・積極的に参加して伝達学習して欲しい。 ・外部研修の案内を掲示してくれている。 ・行きたい研修があれば勤務調整してくれている。							・継続する ・職員が自発的に研修に参加していけるよう、情報提供をする。 ・参加費等は会社が支給してくれるため、体制は整っている
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・できている ・半年に一回、多職種での会議を行い、計画の見直しや作成をしている。	24	1	0	0	0		・継続する ・今後も定期的にアセスメント、評価し、計画を立案・実施していく。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・できている ・半年に一回、多職種での会議を行い、計画の見直しや作成をしている。 ・制作や季節の行事などで、個別・集団の組み合わせができている。 ・放課後等デイご利用児は滞在時間が短く、どうしてもケアが優先になってしまうが、長期休み等を利用して実施できている。							・継続する ・今後も定期的にアセスメント、評価し、計画を立案・実施していく
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・できている ・半年に一回、多職種での会議を行い、計画の見直しや作成をしている。	24	1	0	0	0		・継続する ・今後も定期的にアセスメント、評価し、計画を立案・実施していく。 ・「どちらでもない」は実施できている時とそうでない時があるということか。スタッフ間での情報共有をしっかりと行い、理解を深めてもらう。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価(件数)						保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・できている ・ケアは適切にできている ・半年に一回、多職種での会議が設けられ、意見交換できている。 ・支援計画の周知が徹底できていないと感じることもある。 ・放デイの時間帯では時間がなくて中々計画に沿った活動が難しいことがある。 ・個人ファイルに目を通してから支援に入るようにしている。	25	0	0	0	0		・継続する ・今後も定期的にアセスメント、評価し、計画を立案・実施していく。
適切な支援の提供	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・できている ・皆で話し合ってイベントの企画や活動内容を計画できている。 ・毎朝その日の動きの打ち合わせをしている。						・季節に沿ったイベントや製作、長期休みにはスーパーへの買い物など、様々なことをしてもらって楽しませてもらっている。	・引き続き実施する ・外出しやすくなってきたため、新しいことにもチャレンジしていきたい
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・できている ・平日と長期休暇ではご利用時間が違う。それぞれの時間に応じて、限られた時間の中にはなるが、ご利用者様個々に応じた対応、および、季節ごとの行事やイベント（プール、ハロウィン、クリスマス、外出など）を実施している。 ・利用者様1人に対してスタッフ1名以上が対応しており、細やかな支援を行えている。							・引き続き実施する ・滞在時間に応じた支援内容を検討し実施できている。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・できている ・定期的に会議を行い、活動プログラムを決定している。 ・天気が良い時は公園遊びをしたり、とその日の状況に合わせた活動を取り入れている。	24	1	0	0	0		・引き続き実施する
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・できている ・毎朝ミーティングを行い、情報共有と確認をしている。 ・朝のミーティングに参加できないスタッフにも、ミーティング内容の共有をしている。 ・担当スタッフの入れ替わりが多い日もあるので、徹底は難しいこともある。							・引き続き実施する ・新しく入ったスタッフや単発で入るスタッフも不安や疑問点をいつでも発信できる環境を作る。 ・小さなことでも情報共有を行う

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価(件数)						保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	
医	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・できている ・毎日ではないが、気になる利用者さんについては確認や共有することを意識している。 ・スタッフの退勤時間もバラバラなので、気付いた時はその都度情報共有や相談などを行っている。 ・情報は個人ファイルやMCSを活用し、共有出来ている。							・引き続き実施する ・新しく入ったスタッフや単発で入るスタッフも不安や疑問点をいつでも発信できる環境を作る
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・できている ・連絡ノートを活用し、ご利用時の記録を行っている。きっずでどのように過ごされるかが分かる形になっている。 ・月1回、定例のきっず会議にて、その時々でご利用者様について、お体の状態や支援の方法などを情報共有、話し合いなどを行っている。							・引き続き実施する
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・できている ・半年に一回、多職種で話し合えている。							・引き続き実施する
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・できている							・引き続き参画していく
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・できている ・常に連携できているのかは不明 ・学校や幼稚園へのお迎え時に、担当教員や看護師から状態や情報をいただくようにしている。 ・特別支援学校とは連絡や必要時に情報交換ができている。年3回、放課後等デイ連絡会に参加し、市、福祉、教育と連絡体制がある。							・引き続き実施する ・MCSをもっと広く周知し、連携機関の方々の参加を促す。 ・個別支援会議（本人中心会議）の開催案内があれば、できるだけ参加する。参加できなくても情報提供し、後日報告をいただくようにする。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価(件数)						保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	
関係機関との連携	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・できている ・常に連携できているのかは不明 ・直接主治医と連絡をとることはほぼない。 ・MCSを活用し、往診医とも連携が取れている。							・引き続き実施する
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	・できている ・十分かは不明。 ・電話や紙面、直接見学に来られることもあり、情報交換や、幼稚園等へのスムーズな移行支援ができるように援助している。							・引き続き情報提供していく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・まだ卒業した利用者様がいない。 ・個別に必要な情報提供を行っている。							・今後、生活介護等に移行される方については、必要時情報提供していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・できている ・外部研修の周知を職員へ随時実施している。 ・研修案内を社内掲示板に掲示しているが、すべての人が見ているか不明。もう少し「これ」というものは口頭で周知していく必要があるかも。							・引き続き研修等の案内を行い、必要な研修には参加できるよう、勤務調整や法人の費用負担などを行い、資質向上を図っていく。 ・各市の児童発達支援センターや学校、他の事業所とも交流研修等ができればと思う
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・できていない ・時間的にも難しい ・機会はほとんどない ・公園遊びや芋掘り等で地域の園児と交流することはある	5	2	0	18	0		・交流する計画立案を検討する ・保育所などに通園している人から始めてみるのも良いかも ・実現できるかは分からないが、保護者が希望するなら同行できればと思う ・外遊びの機会に地域の園児やスタッフの子供と交流する

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価(件数)						保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・できている ・法人としての行事（誰もが暮らせる地域づくりフォーラム）がある ・機会はほとんどない							・地域向けの行事開催やイベント開催の企画及びその企画への地域への招待などを検討する必要がある ・法人としての行事を継続する
保護者	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・できている ・個々に任せているので、丁寧かどうかは不明なこともあると思う。 ・わからない点は事務スタッフに聞き、間違えの内容にお伝えしている。	25	0	0	0	0		・引き続き実施する
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・できている ・個々に任せているので、丁寧かどうかは不明なこともあると思う。 ・送迎時等、時間がない時は丁寧に説明できない時もある。	25	0	0	0	0		・引き続き実施する
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施	・できていない ・現状機会がない。	14	1	1	9	0	・こちらが参加できていないと思います。	・ご家族参加の研修開催を検討する必要がある ・同じ困りごとの家族など小規模から始める ・ペアレントトレーニングについてのスタッフのための研修も必要と感じる
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・できている ・送迎時や支援計画のモニタリング時等に、保護者と話すようにしている。	25	0	0	0	0		・引き続き実施する
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・できている ・ご自宅送りで世間話程度に話すことはある。 ・その場で分からないことがある時は持ち帰り、上司に相談してから返すようにしている。 ・必要な場合は、情報共有や報告を行っている。 ・適切な対応とスタッフ側が思っていても、保護者はそう受け取らないこともあるので、評価が難しい	21	2	0	2	0		・きっず利用だけのご家族ともお話しできる機会が送迎以外にも持てるといいと思う ・スタッフへの研修も必要 ・都度対応についてスタッフで振り返り・情報共有が必要 ・三者懇談や見学会の実施、意見箱の設置など、いつでもこちらと繋がれることをアピールする

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価(件数)						保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	
者への説明責任・連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・できていない ・コロナ禍があり、近年、集合型での会合はできていない	5	5	4	11	0	・こちらが参加できていないと思います。 ・小学校に入ってからなくなったかなと思います。	・状況を見ながら、小規模から集まりが出来ればと思う ・参観が再開できればと思う ・しぇあきっずオープンデイのような、フリーで遊びに来ていただけるような日を設ける ・保護者からの希望はあるのか、アンケートやご意見箱のようなものを設置してもよいかも
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・できている ・苦情があった場合は、速やかに、管理者等を中心にして対応を行う体制をとっている。 ・苦情や意見が言いたくても、言いにくい環境になっていないか。苦情や意見を伝えていただける工夫が必要かもしれない。	23	2	0	0	0		・「どちらでもない」の意見もあるため、苦情を受けた際の対応方法について、スタッフ間で共有する。また保護者に向けて、苦情対応窓口があることを再周知する。 ・言いにくいこともあると思うので、匿名で意見を伝えられる、デジタルご意見箱を設置し、きっずだよりにQRコードを記載し周知する ・事故対策委員会で苦情対応のマニュアルの整備を行っていること、虐待や身体拘束についても委員会や相談窓口があることを再度周知する
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・できている ・マンパワー不足になると配慮できる範囲が限られ、配慮したくてもできない環境が作られることもあるかと思う。 ・利用者様お一人ずつの意思表示方法を確認し、保護者にはお伝えしている。	25	0	0	0	0		・引き続き実施する ・常に意識してできているため継続する。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価(件数)						保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・不定期だができている ・紙媒体は不定期発行になっている。研修の報告などはホームページで、日々の活動はインスタでの発信を行っている。更新頻度は高くはない。 ・季節の行事予定はその都度、案内を配布している。その様子はインスタへ投稿したり、保護者に写真をお送りしている。	24	0	0	1	0		・季刊で発行できるようにしてはどうか。担当を決める必要もあるかもしれない。 ・きっずだよりを発行する（再開）
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・できている ・写真使用に関して同意を得たり、施錠できるキャビネットを使用し、そこに個人ファイル等を入れている ・土日祝のカフェの営業日は誰でもが建物に入れてしまうので、ラックに入っている個人情報はすべてキャビネットに入れて施錠し、事務スタッフに協力してもらって鍵の管理をしてもらっている。 ・インスタグラム等SNSで情報発信しているが、その際に写真を載せていいかどうかを確認し、注意深く掲載している。	23	0	0	2	0		・引き続き厳重に取り扱う
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・できている ・定期的に各委員会とデイスタッフで話し合い、対応できるようになっていると思う ・各種マニュアルは策定できている。周知の機会は少ない。 ・避難訓練の様子などをホームページ等で発信しているが、保護者が見ているかは不明 ・社内で委員会を設置し、定期的に会議、研修を行っている。	25	0	0	0	0		・年に1回以上は広報紙を発行する。HPにも掲載してもよい。 ・引き続き実施する

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価(件数)						保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	
非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・できている ・定期的に各委員会とデイスタッフで話し合い、対応できるようになっていると思う ・水害、火災、地震、不審者に関する非常時対応訓練を各種1回以上は実施している。 ・社内で委員会を設置し、定期的に会議、研修を行っている。	24	1	0	0	0		・継続実施すると共に、実施報告をHPなどに掲載し周知する。 ・利用者さんにも協力してもらい、一緒に訓練ができればと思う。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・できている ・定期的に各委員会と皆で話し合い、対応できるようになっていると思う ・社内で委員会を設置し、定期的に会議、研修を行っている。 ・法人内で年1回以上研修を実施している。外部研修にも参加している。							・引き続き実施する ・虐待防止兼身体拘束適正化委員会とも連携し、情報共有、研修を行っていき、その様子をHP等で発信する
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・できている ・個別支援計画に記載し、保護者の方に説明、了承を得ている。							・引き続き実施する ・虐待防止兼身体拘束適正化委員会とも連携し、情報共有、研修を行っていき、その様子をHP等で発信する
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・できている ・医師の指示書よりも保護者の方からの情報の方が多い。 ・個人ファイルに分かりやすく記載している ・味見する前には必ずアレルギーの有無を確認している							・誰もがいつでも確認できる場所に記載し情報共有ができているため継続する。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価(件数)						保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらでもない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・できている ・事故対策委員会を中心に取り組みを実施。報告書や研修による共有が実施されている。 ・MCSを活用し、情報共有を行っている。							・引き続き実施する
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	・楽しみにしていただけるような取り組みを継続して実施する必要がある。	23	1	0	1	0	・楽しみにしているようです。ありがとうございます。	・わからない、どちらでもないというご意見があることを受け止め、どうすれば楽しんでいただけるのか、ご本人、ご家族にとってきっずが楽しい場所となれるように、検証を続けなければならないのではないか。 ・放課後等デイの方が増えており、こどもの年齢に応じた遊びや試みを増やしていきたい。
	2	事業所の支援に満足しているか	・ご本人にとっても、ご家族にとっても、満足していただける事業所づくりを行う必要がある。ご本人の安全安心や楽しさ、成長の場である他、ご本人やご家族が、個々に満足される部分が異なる中で、何が求められ、どのような事業所づくりをしていくのか、ご本人やご家族に直接お聞きもしながら、取り組みを進める必要がある。 ・お断りの日があるのは申し訳ないと思う	23	2	0	0	0		・引き続き、ご本人、ご家族に満足してきっずをご利用していただけるように、改善を続ける